



会議議事録

会議名	2022年度 第2回地域リハ推進委員会
-----	---------------------

開催概要

開催日時	オンライン上で相談 令和4年 10月 28日(金) 13:00~15:00
開催場所	オンライン会議
出席者 (敬称略)	委員長 : 平田好文 副委員長 : 大串幹 委員会顧問 : 浜村明德 委員 : 内田正剛 岡持利巨 佐藤英雄 高柳公司 田中康之 松坂誠應 三宅貴志 オブザーバー : 佐藤吉冲 (研修委員長) 欠席 : 岡 光孝、堀田富士子 (名簿順)

議事内容
<p>【議題1：調査の実施について】</p> <p>1. 会員施設への継続的調査の実施にあたり 地域リハ推進委員会の活動として、以下のポイントを踏まえ調査や活動を進める事を確認。</p> <p>(1) 会員施設が、地域リハビリテーションの活動に取り組めるよう、様々な情報発信を行う (2) 定期的な会員施設への調査により取組状況を把握し、情報共有を行う (3) 地域リハ塾生をはじめ、会員施設の専門職が、活動しやすくなるよう、管理者の理解と活動参加を促進する (4) 医師会等、地域の中でのネットワークなど、連携体制をより強化する (5) 地域のキーマンや初心者等、様々な層に向けた研修などの情報発信を行う(地域の実情は様々で、基礎知識の不足感や、体制が先行する等について行けないという考え方もあるため、会員施設で誰もがやっている身近な活動も地域リハの活動と紐付けて理解出来るようにして、ハードルを下げたい) (6) 地域活動に参加する者だけでなく、周囲の理解も含め、会員施設全体でも共有できるような情報発信を行う (7) 2023年介護保険法改定、2024年の同時改定等を視野に、「地域リハビリテーション」の位置づけ確認や成文化を意識した情報発信</p> <p>2. 調査の実施は二段階で実施</p> <p>(1) 目的 <u>会員施設・職員による地域の活動・取組の促進のため、定期的把握と情報提供</u> (2) <u>第一段階：会員施設の地域活動担当者の把握</u> ① 2022年11月～実施 ② 対象：会員施設の代表者 ③ 方法：オンライン ④ 内容：会員施設の、「活動の有無」「地域の活動・取組の窓口」二点を把握 (3) <u>第二段階：会員施設を取組の俯瞰的把握と情報提供</u> ⑤ 2022年12月～実施</p>



- ⑥ 対象：会員施設の地域活動・取組の窓口担当者
- ⑦ 方法：オンライン
- ⑧ 内容：地域リハビリテーションの推進課題からみた会員施設の取組状況
- ⑨ 項目 1：介護予防、自立支援、切れ目のない体制整備、連携・協働、ネットワーク、啓蒙・啓発活動、見守り・支え合いづくり
- ⑩ 項目 2：職員が、取組に参加しやすくする工夫

3. 第一段階の調査を開始し、その後の活動につなげていきたい（活動のロードマップ案）

『調査目的』

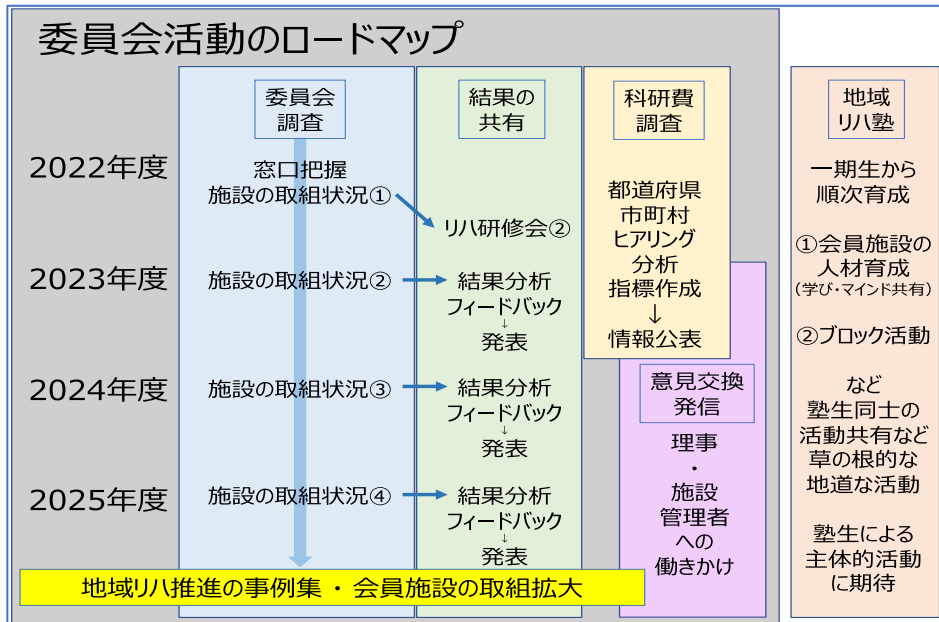
- (1) 2016年地域リハの定義・推進課題・活動指針の改定以降、数年に分けて地域リハビリテーションの取組状況について、調査や発信が行われてきました。
- (2) 日本リハビリテーション病院・施設協会および地域リハビリテーション推進委員会では、マニュアル作成や研修会などに協力してきました。
- (3) 今後の同時改正を見据え「地域包括ケアを支える地域リハ推進の強化策」により、「再び、全国制覇」を目指した取組へと進めるため、今年度より会員施設の活動について、共有しつつ、情報提供などを行う事で、インクルーシブな地域づくりに取り組んで参りたいと考えています。
- (4) お手数ですが、以下の二問について、ご回答をお願いいたします。

『設問』

- (1) 『貴施設では、地域連携や介護予防など「地域に向けた活動」に、職員の皆様が関わっていますか？』
 - はい 準備中である 関わる意志がある 関わる予定はない
 - （例：介護予防、自立支援、切れ目のない体制整備、連携・協働、ネットワーク、啓蒙・啓発活動、見守り・支え合いづくり 等）
- (2) 地域の事業や活動の担当窓口について、お教えてください。（全員回答いただく）
 - 担当者氏名 ：
 - 配属部署 ：
 - 連絡先 TEL ：
 - 連絡先 mail ：
- (3) 回答フォーム https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdy_1_dK6bPIB-AQ_z0m80mHa4ocMqlh_-mQofLXY_tqUhsyw/viewform?usp=sharing



これらの調査結果を元に、3年間かけて様々な活動を行っていく事を確認した。



【議題②：第2回リハビリテーション研修会について】

『研修会企画のねらい』

1. 地域リハビリテーションのとらえ方の共有
2. 会員施設の協力や参加を伸ばす（管理者の理解と参加の促進）
3. 塾生・会員施設専門職の活動を応援
4. 地域リハビリテーションの活動のハードルを下げる
（会員施設で行われている様々な働きかけを、これも地域リハの活動と理解・共有）
5. 2024年同時改定時など、制度への位置づけ
6. 二期生の募集

『企画案』各タイトルは仮題

1. 会長談：「一緒に取り組みたい地域リハビリテーションの活動」_30分
 - (1) 地域リハビリテーション塾への思い
 - (2) 体制整備から草の根活動へ
 - (3) 会員施設全体で取り組みたい「地域共生社会」「地域包括ケアシステム」を推進する地域リハビリテーションの活動
2. 塾生談：「地域リハビリテーション塾に参加して」_30分
 - (1) 0期生および1期生から、当会塾の取組に参加した感想や、身近な活動について聞き出す
 - (2) 体制が整ったところだけでなく、自分が今いるフィールドで活動できると感じたこと
 - (3) 身近な地域での草の根的に活動を始めたこと
 - (4) 活動から日々の業務への影響
 - (5) 座談会のような形で、0期塾を運営した小泉・岡持でインタビュー



- 3. 休憩_10分
- 4. 対談：「私の期待する地域リハビリテーションの活動」_90分
 - (1) 日本医師会の立場から 江澤先生_20分
 - (2) 厚生労働省の立場から 老人保健課 地域リハビリテーション担当_20分
 - (3) 施設管理者の立場から 塾生の管理者（送り出す施設の管理者としての思い）_20分
委員会では、佐藤吉冲先生のお名前が出ていますが、理事の中からご紹介いただけると幸いです。
 - (4) ディスカッション_30分
 - (5) 斉藤会長および浜村顧問に司会をお願いしたい
- 5. 委員会報告：平田委員長_10分
 - (1) 2024年に向けた地域リハビリテーション推進委員会の活動
 - (2) 作業部会および委員会で報告資料を取りまとめ準備する

進行案 13:30 開会挨拶（5）
 13:35 会長談（30）
 14:05 塾生談（30） 14:35 休憩（10）
 14:45 対談（90）
 16:15 委員会報告（10）
 16:25 閉会挨拶（5）
 16:30 閉会

【議題③：今後の委員会活動について】

1. 作業部会の設置について

- (1) 第二段階調査等、今後のロードマップ作り等、委員会メンバーの内、活動しやすいメンバーで相談し、下準備の上、委員会に提案する
- (2) まずは11月18日委員会開催に向け準備作業を行う
- (3) メンバー（敬称略）：内田、岡、佐藤、高柳、田中、三宅、岡持

2. 今後のスケジュールについて

- (1) 10月28日～11月18日 作業部会で第二段階調査の下案を検討
- (2) 11月18日 委員会で第二段階調査について検討、実施に向けた準備

次回予定	4年11月18日（金）	開始時刻 （14：00～	終了時刻 ：）
議事録作成日	2022.10.24	議事録作成者	岡持利巨

委員会議事録は理事会資料として提出します。
 会議終了後、1週間以内にメールで事務局へご提出ください。〔 提出先：info@rehakyoh.jp 〕